

生産性向上支援訓練カリキュラム

B. 生涯キャリア形成	経験や知識を活かしたコーチング法を学び、指導力を向上させよう！
役割の変化への対応	後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた先導的役割を理解する。
----------------	---

対 象	(中堅・ベテラン層向け 45歳以上推奨) ・後輩への指導・援助が上手になりたい方 ・中堅・ベテラン従業員が職場に求められる役割について学びたい方
------------	--

講 義 内 容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	職場の課題 (1) 部下・後輩指導についての課題を考える ①部下・後輩指導についての課題	0.5
	2	求められる役割 (1) 中堅・ベテラン従業員に求められる役割 ①部下・後輩指導における中堅・ベテラン従業員の役割 ②指導者に求められるもの (2) ティーチングとコーチングの違い ①目的の違い ②指導内容と指導方法の違い	1.0
	3	ティーチングを活用した指導法 (1) 現場での指導の進め方①～ティーチング ①指示の仕方 ②指示した内容を確認する ③報告させる、相談を受ける ④効果的なほめ方 ⑤「叱る(注意する)」ということの理解 ⑥不平不満の受け止め方～まずはきちんと聞く	1.0
	4	コーチングを活用した指導法 (1) 現場での指導の進め方②～コーチング ①コーチングの基本的な考え方 ②コーチングの前提 ③コーチングの効果 ④コーチングスキル①～「傾聴」 ⑤コーチングスキル②～「質問」 ⑥コーチングスキル③～「承認」 (2) ケーススタディ ①ケースについて、どのように指導をするか考える(2～4題)	1.5
	演 習	【個人ワーク】部下・後輩指導について、悩んでいること・難しいと感じていることを共有する 【個人ワーク＋共有】中堅・ベテラン従業員が「部下・後輩指導」において求められることを考え、共有する 【個人ワーク】報告しなければと思いつつ、気後れして後回しにしてしまった経験を共有する 【個人ワーク】新人・若手のほめるところを発見する 【グループワーク】注意しなければならないと思いつつ、ためらってしまうことについて、他のメンバーはどのようにしているかを確認する 【グループワーク】テーマについて、傾聴の練習をする 【個人ワーク＋発表】ケースについて、相手が抱えている問題を訊き出すための質問を考える 【ケーススタディ】ケースについて、どのように指導をするか考える(2～4題) □	2.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
本訓練は職場において部下・後輩指導を担当する中堅・ベテラン従業員の方を対象とした訓練になります。指導における重要な2つのティーチングとコーチングについて、まずはその効果と場面に応じた使い分けを理解し、その後実践的な活用方法を講義とワークを通して習得していただきます。

備考